

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
岩国市障害者サービスセンター		令和 7 年 2 月 2 5 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		複数の部屋を使用し、グループに分かれて活動している。スケジュールを調整したりパーティションなどで個別スペースを確保したり工夫している。室外に空いた車いすを置くスペースを設けている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○			基準以上の職員を配置しているが、職員の欠勤や支援において個別対応や複数の職員での対応が必要な場合もある。互いにフォローしながら事故のないよう支援に努めている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		パーティションや家具を活用して活動目的ごとにエリアを分け、イラストや写真で視覚的に提示している。障害者トイレやエレベーターなど車いす利用者も利用できるようなバリアフリー化されている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		共有部分は毎日消毒し、週 3 回清掃業者が入っている。活動に合わせて室内の配置換えも行っている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		休憩スペースがあり、必要に応じて別室も使用することができる。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年 1 回個別面談を行っている。毎月全体でのミーティングを行い、業務の確認や意見を出し合っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		施設利用者や実習生へのアンケートを実施している。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		内部研修については年間の研修計画を立てて実施している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		令和 6 年 1 2 月に支援プログラムを公表した。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		今年度から計画書の様式を変更し、「本人支援」「家族支援」「地域支援」と項目ごとに支援内容を分かりやすく設定している。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		日々のグループごとのミーティングや毎月の全体ミーティングで意見を出し合い立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		年齢や人数、利用時間、季節や天気などに合わせて活動プログラムを立案し実施している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援終了後は終業時間まで短時間にまとめ申し送りを行い、翌日の支援開始前に時間をかけて前日の支援の振り返りを行っている。また	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		意見を出し合い、当日の支援内容、役割などを確認し情報共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		イラストや写真、具体物など視覚的に提示して選択する、「休憩したい」「参加しない」などの要求や交渉をするなど、場面を設定して自発の機会を作っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		担当者会議、移行支援会議に参加している。 必要に応じて情報共有し連携を図っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		児童発達支援センターを講師に招き、事業所内研修を行った。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		夏休みに地域の子ども会を行事に招待し、冬休みには合同でイベントを開催した。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		事業所内の相談支援専門員が協議会メンバーであるため情報共有している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
等への説明	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		保護者向けの研修があれば情報提供するようにする。また、事業所として職員と保護者が一緒に参加できる研修を企画したい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			利用開始時にそれぞれ説明を行っているが、長期に利用されている場合や内容の変更があった場合は改めて説明の機会をつくり、ご理解いただけるようにする。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		父母の会はなく、保護者会も今年度は行っていない。来年度は保護者対象の研修会の開催も含め保護者の交流の機会をつくる予定。就労している保護者もいるので、負担のないように内容を検討したい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			事業所として要望や苦情への対応の体制は整え対応しているが、保護者への周知が十分でなかった。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月の予約表に活動の様子を写真掲載し配布している。	HPやSNS等のツールは活用できていないため、保護者への発信が弱く感じられたと考える。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		ハロウィンで地域の施設等に協力を得たり、キッチンカーのイベントに地域住民に声かけをして交流を図った。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			各マニュアル、安全計画、BCPを策定し、訓練の実施や報告を行っているが、保護者への認知度が高くなかった。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		発作時の対応について事業所として対応マニュアルを策定しているが、個別に家族に対応を確認している。薬の変更があった場合は情報提供してもらっている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	利用開始時に食物や他アレルギーについて聞き取りを行っている。現在食物アレルギーのある利用児はいない。医療的ケア児については、医師の指示書をもとに処置や支援を行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			安全計画を作成し、研修や訓練を行っているが保護者への周知が十分でなかった。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットはその都度共有し、また年度ごとに振り返りを行うことで再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			